

<b>〔科目名〕</b> 学習導入演習	<b>〔単位数〕</b> 2 単位	<b>〔科目区分〕</b> アカデミック コモンベーシック				
<b>〔担当者〕</b> 下村 育世	<b>〔オフィス・アワー〕</b> <b>時間：</b> 授業の際にお伝えします。 <b>場所：</b> 617研究室	<b>〔授業の方法〕</b> 演習				
<b>〔科目の概要〕</b> <p>本科目は、新入生が大学での学習に円滑に移行するための支援をする導入教育といえるものです。最大の目的は、大学生活で課されるレポートの書き方の基本を身につけることにあります。そしてその過程において、授業の聞き方、電子メールの書き方、提出文書の基本的作法、読書レジュメの作り方、オンライン上および図書館での情報資源の探し方、リアクションペーパーの書き方といったスタディ・スキルについても併せて指導します。</p> <p>原則として各回で課題を出し、提出を求めます。</p>						
<b>〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕</b> <p>大学では、高校までの学びのスタイルとは異なるものを求められます。講義を聞きながらのノートの取り方、本を正確にそして批判的に読む方法、信頼に足る情報資源へのアクセスの仕方とそれに基づいて文章を書く方法、レポートとは「調べ学習」にとどまらないということを理解した上でレポートを書けるようになるということは、大学の学びのなかで必要なことですが、初年次生にとっては学びへの態度の変革を迫られるでしょうし、そう簡単に身につけられるものではないかもしれません。本演習では、初年次生にまず知識としてこれらを知らせ、そして実際にやってもらい、大学で求められる学びのスタートを切ってもらいます。</p> <p>これらのスタディ・スキルは大学の授業のみならず、社会人生活においても必要不可欠なものといえます。これらの能力を身につけた上で、広く様々な方面で活用できるようになることを目指します。</p>						
<b>〔科目の到達目標〕</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義におけるメモ(ノート)の取り方を理解する。</li> <li>・教員と連絡をとるための電子メールの書き方を身につける。</li> <li>・講義で使われることのあるGoogle classroomに触れる。</li> <li>・講義で課されるリアクションペーパーの書き方を学ぶ。</li> <li>・図書館やデータベースを利用し、信頼に足る情報検索の方法を理解する。</li> <li>・文章を正確に読み、それを要約できる。</li> <li>・正しく引用することができる。</li> <li>・参考文献表の書き方を理解する。</li> <li>・他者の意見を理解した上で、自分の意見を述べることができる。</li> <li>・正確な日本語による論理的なレポートを作成できる。</li> </ul>						
<b>〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕</b>						
学部				学科		
DP1	DP2	DP3 ○	DP4 ○	DP1	DP2	DP3
<b>〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕</b> <p>今年度はグループワークの目的や役割分担をより明確にし、グループ人数を適切に調整し、安心して意見交換ができる授業運営を工夫します。対話を通じてクラスメートとのつながりを深め、大学生活の基盤を形成できる学びの場を目指します。</p>						

<b>〔教科書〕</b> 使用しない。適宜プリントを配布する。	
<b>〔指定図書〕</b> なし	
<b>〔参考書〕</b> 井下千以子『思考を鍛えるレポート・論文作成法』(第2版)慶応義塾大学出版会、2014年。 河野哲也『問う方法・考える方法——「探求型の学習」のために』ちくまプリマー新書、2021年。 戸田山和久『新版 論文の教室——レポートから卒論まで』NHK ブックス、2012年。 坂東実子『大学生のための文章表現練習帳』(第2版)国書刊行会、2021年。 野矢茂樹『大人のための国語ゼミ』山川出版社、2017年。	
<b>〔前提科目〕</b> なし	
<b>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</b> 講義への積極的な参加と毎回の課題の提出で60%(平常点)、最終レポートの提出40%(期末点)で評価する。	
<b>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</b> レポートの提出は、大学生活のなかでこれから幾度も求められていきます。まずは必要なルールを知り、それに基づいて書けるようになってください。本講義はそのトレーニングの場です。そして書く機会を重ねるごとに、学びを深化させ、レポート執筆に習熟していくことを期待しています。 無遅刻無欠席が原則です。スケジュールは授業の進捗状況により変更する場合があります。	
<b>〔実務経歴〕</b>	
授 業 スケ ジ ュ ー ル	
第 1 回	テーマ(何を学ぶか): ガイダンス 内 容: 講義の内容と進め方、評価の仕方について解説を行う。アイスブレイクの時間をとる。 教科書・指定図書
第 2 回	テーマ(何を学ぶか): 大学での学び方: 主体的な学びに向けて 内 容: メモ(ノート)の取り方、端末、メールの書き方、リアクションペーパーの書き方について学ぶ。 教科書・指定図書
第 3 回	テーマ(何を学ぶか): プレゼンの練習1 内 容: プレゼンと質疑応答 教科書・指定図書
第 4 回	テーマ(何を学ぶか): プレゼンの練習2 内 容: プレゼンと質疑応答 教科書・指定図書
第 5 回	テーマ(何を学ぶか): レポートの書き方1 内 容: 研究テーマの選定、google classroom に参加 教科書・指定図書

第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポートの書き方2</p> <p>内 容:論点絞り込み、信頼に足る情報資源の探し方(オンライン編)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポートの書き方3</p> <p>内 容: レポートの書き方(小論文とレポートのちがい)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポートの書き方4</p> <p>内 容:信頼に足る情報資源の探し方(図書館編)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポートの書き方5</p> <p>内 容:参考文献表の作り方、本の読み方</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポートの書き方6</p> <p>内 容:引用と要約の練習、剽窃(無断コピー)はいけないと知っているはずなのに・・・</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポートの書き方7</p> <p>内 容: プレゼン資料の作成、パワーポイントの使い方</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):研究発表1</p> <p>内 容:発表、学生による質疑応答</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):研究発表2</p> <p>内 容:発表、学生による質疑応答</p> <p>教科書・指定図書</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):研究発表3</p> <p>内 容:発表、学生による質疑応答</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポートの書き方8</p> <p>内 容: レポート作成の総仕上げ</p> <p>教科書・指定図書</p>
試験	<p>レポートの提出</p>